

施策評価調書(27年度実績)

施策コード Ⅱ-4-(1)

政策体系	施策名	国内誘客の推進と海外誘客(インバウンド)の加速	所管部局名	企画振興部	長期総合計画頁	111
	政策名	人を呼び込み地域が輝くツーリズムの推進	関係部局名	企画振興部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	国内観光客確保策の推進	海外誘客(インバウンド)対策の加速	広域連携の強化	観光誘客推進体制の整備

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 県内宿泊客数(千人)	①②③④	H26	6,101	6,900	7,388	107.1%	7,100	7,300						
ii 外国人宿泊客数(千人)	①②③④	H26	400	480	774	161.3%	800	1,200						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i 達成	国内外に向けた情報発信を強化し、ブランド力向上を図るとともに、おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン等さまざまな取組を官民一体となって進めるなど、大分県ツーリズム戦略の着実な推進に努めたことにより、目標値を達成した。			達成
ii 達成	旅行先としての本県の知名度向上や旅行商品の造成が図られたことで、韓国に加え、台湾やタイ、中国からの観光客数が増加し、目標値を達成した。			

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもてなしトレ」の整備を実施し、観光客が快適に利用出来る環境を整えた。 ・グリーンツーリズムでは、積極的な団体旅行誘客などを実施し、前年を超える宿泊者があった。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・訪日旅行人気や円安、ビザの発給要件緩和等により、外国人観光客が増加した。 ・韓国だけでなく、県がプロモーションに強化している台湾やタイなどで効果が現れている。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・東九州自動車道の全線開通を踏まえ、宮崎県と連携した情報発信や誘客促進を図るとともに、広島県をターゲットとしたPRイベントを行った。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・(公社)ツーリズムおおいたが、「日本版DMO候補法人」に登録され、組織体制の確立に向けた動きが加速した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
①	ツーリズム戦略総合対策事業	116,935	A	終了	18
	国内圏域別誘客促進事業	109,379	A	終了	14
	おんせん県おおいた周遊促進事業	505,938	A	終了	17
②	インバウンド推進事業	71,805	A	継続・見直し	15
	インバウンド観光産業基盤整備事業	286,956	A	終了	16

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第2回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (H28.2)</p> <p>・広域観光の中で大分の強みをどのように出すか。地域連携で取り組まないといけない。</p>	<p>○第2回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会 (H28.2)</p> <p>・六郷満山のような山奥でもWi-Fiがあると観光客がやってくる。インフラとしてWi-Fiは重要である。</p>
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・「大分県ツーリズム戦略2015」にある戦略の着実な推進に努める。 ・国別、圏域別、目的別にターゲットを絞り込み、エージェンツへのセールスや効果的な情報発信などに取り組む。 ・東九州自動車道の全線開通や国東半島1300年祭などの機会を生かし、着実な誘客促進を図る。 ・外国人観光客の誘致においては、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機としたアジア・欧米への情報発信、対象国に合わせた旅行商品造成、多言語対応やWi-Fi環境の整備など受入態勢の整備を行う。